

2013年12月11日

摂南大学理工学部建築学科建築防災研究室

池田中町地区対象『防災DIG』を開催しました！

日 時：2013年12月1日（13：30～16：00）

場 所：摂南大学寝屋川キャンパス7号館6階

参加者：池田中町地区住民さん29名

ファシリテーター：建築学科学生10名+大学院生（社会開発工学専攻）1名

今回の見どころ

寝屋川キャンパスを含む池田中町は、淀川の堤防破損により5m以上の浸水が懸念される地域です。また、農業用水や暗渠（あんきょ）も多く、これまでも雨による浸水被害が多発しています。そこで、池田中町自治会および池田中町自主防災会のご協力を得て、2012年の大雨による浸水被害写真を用いた『防災DIG』を行いました。参加された方は、自主防災会を中心とし、老人会・民生委員・PTA関係者など多種にわたり、6班に分かれて実施しました。

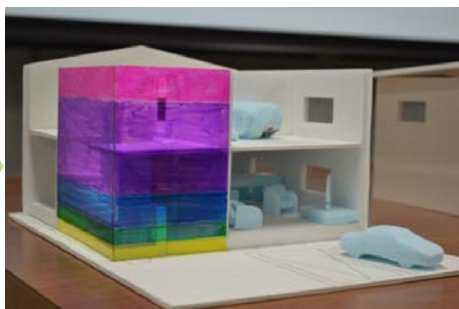


2012年8月14日の大雨による浸水（杉本会長撮影）

プログラム実施風景



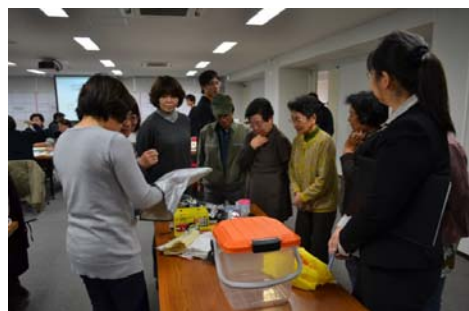
浸水被害に関するお話を聞いて頂きました。プレゼンした学生は緊張？！



ハザードマップの浸水高さについて、模型で紹介しました。



地図に避難場所や水路などを書き込みます。「住民さんしか知らない暗渠？」の書き込みは盛り上がりました！



休憩時には、大学所有の防災備蓄品や教員の防災グッズを展示しました。



グループで「水害に対して自分たちができること」について話し合いました。



グループごとに発表を行いました。発表内容はそれぞれに特徴がありました。

プログラム実施結果

実施後のアンケートでは、参加者全員が「このようなプログラムは役に立つ」と回答されました。特に「グループワークが有効だった」との意見が多く、地域のコミュニケーション促進に寄与できることがわかりました。また、「水害に対して普段からできること」として、役場がすべき事、自主防災会として取り組んでいる事の他、「水路への目印をつける」、「水路の清掃」という意見も得られました。たくさんの貴重なご意見を皆さんで共有することができました。

参加いただいた池田中町の皆様、ご協力をありがとうございました。また、今回のプログラムは、2012年の浸水被害記録を基に作成しました。この場をお借りしまして、記録の作成者である杉本会長にお礼申し上げます。